

(日刊)

2010年(平成22年)

8月11日水曜日

[日7月2日・友引]

発行所 琉球新報社

〒900-8525 那覇市元久905番地

電話 098(865)5111

©琉球新報社2010年

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

第36494号

盆栽と競演

来月、日光東照宮で

徳川家康公400年祭企画展

石垣焼窯元から2点

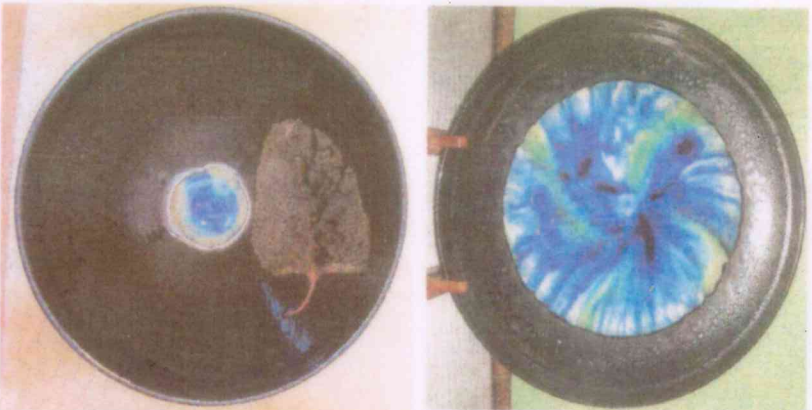


金子晴彦氏
代表(49)
自奉碗に感動したことが
きっかけ。金子代表の作品は、
は日本文
油煙火目の器にガラスを融合

競演は「自然との共生」を
テーマに同展の準備を進めて
いた葉坂氏が「自然を美しく
刻んで永遠に残す」木の葉天
目奉碗に感動したことがき
っかけ。金子代表の作品は、
は日本文
油煙火目の器にガラスを融合

【石垣】9月29日から日光
窯元(石垣市名蔵、金子晴彦
東照宮で初開催される徳川家
代表)の2尺大皿「沖繩の
康400年祭イベント海」と「碧海木の葉天目茶
作り手として本当にうれし
い」と喜んでいる。

同展は、盆栽の各協会や組
デーションが特徴。昨年、焼
成温度がそれぞれ違う陶器、
一堂に集める国内初の試み。
石垣焼窯元の陶器は同展の
発起人で日本盆栽大観展で
過去3年連続で内閣総理大臣
賞を受賞したこともある葉坂
氏を表した盆栽で地球と宇宙を美
勝・日本宝樹会代表の作品と
現。金子代表は「樹は暮しの
は地球や自然を大切にしま
うというメッセージを伝えて
いきたい」と話している。



2尺大皿「沖繩の海」と「碧海木の葉
天目茶碗(石垣焼窯元提供)